

放流効果調査事業（キツネメバル）

村松里美・鈴木亮・吉田雅範

目 的

第7次栽培漁業基本計画の技術開発対象種となっているキツネメバルの放流技術開発に取り組む。

材料と方法

1. 種苗放流

青森県栽培漁業振興協会が同施設で種苗生産・中間育成した当歳魚に、標識として腹鰭抜去を施し、深浦町北金ヶ沢漁港に放流した。

2. 放流効果調査

放流効果を調べるため、平成28年4月～平成29年3月に深浦町北金ヶ沢市場に水揚げされたキツネメバルの標識(腹鰭抜去)の有無を確認した。

結果と考察

1. 種苗放流

公益社団法人青森県栽培漁業振興協会が生産した当歳魚10,000尾に右腹鰭抜去標識を施し、平成28年11月21日に深浦町北金ヶ沢漁港に放流した(表1)。

表 1. 平成 28 年度キツネメバルの放流結果

放流月日	放流場所	平均全長 (mm)	放流尾数 (尾)	うち 標識尾数	標識の 種類	年齢
H28.11.21	北金ヶ沢漁港内	67	10,000	10,000	左腹鰭抜去	当歳

平成25年7月30日に北金ヶ沢漁港内に1歳魚で放流したキツネメバル1尾が、3年後の平成28年12月14日に鯨ヶ沢町沖の底建網で再捕された(表2)。放流から11日以上経過して再捕されたのは、平成24年以降で初の事例であった。今後も継続して再捕情報を入手していきたい。

表 2. キツネメバルの再捕報告結果(外部標識)

再捕月日	再捕場所	漁法	標識種類		全長 (mm)	体重 (g)	年齢	経過 日数	放流月日	放流時 平均全長
			色	種類						
H28.12.14	鯨ヶ沢沖	底建網	オレンジ	ダート	256	300.5	4歳	1233日	H25.07.30	108 mm
計										

2. 放流効果調査

深浦町北金ヶ沢市場には2銘柄のキツネメバルが水揚げされており、体重400g以上が銘柄「大」、400g未満が「小」とされていた。平成28年4月、11月～2月に市場に水揚げされていたキツネメバル計593尾について標識(腹鰭抜去)の有無を確認したところ、右腹鰭抜去された1尾のキツネメバル(雌、全長228mm)を確認した。標識魚の混獲率は0.2%であった(表3)。

表 3. キツネメバルの混獲率

銘柄	調査 日数	測定尾数 (尾)	標識魚 (尾)	混獲率 (%)	全長(cm)		
					平均	最小	最大
小	10	430	1		25	19	29
大	9	163	0		28	24	40
合計	10	593	1	0.2	26	19	40

平成 25 年以降は継続して 10,000 尾を標識(腹鰭抜去)放流できていること(表 4)、これまでの耳石年齢査定調査から 4~7 歳が漁獲の大部分を占めていることから^{1)~6)}、引き続き市場調査を行うことで回収率を算出できるものと考えられる。

表 4. これまでのキツネメバルの放流結果

放流月日	放流場所	平均全長 (mm)	放流尾数 (尾)	うち 標識尾数	標識部位 (腹鰭抜去)	中間育成方法 (実施海域)
H22.11.19	北金ヶ沢漁港	67	9,850	2,400	右・腹鰭	網生簀(日本海)
H23.10.27	北金ヶ沢漁港	69	5,800	5,800	左・腹鰭	網生簀(日本海)
H24.10.18	北金ヶ沢漁港	67	5,500	1,500	右・腹鰭	陸上水槽(日本海・陸奥湾)
H25.10.10	北金ヶ沢漁港	67	10,000	10,000	左・腹鰭	陸上水槽(太平洋)
H26.10.10	北金ヶ沢漁港	71	10,000	10,000	右・腹鰭	陸上水槽(太平洋)
H27.11.18	北金ヶ沢漁港	67	10,000	10,000	左・腹鰭	陸上水槽(太平洋)
H28.11.21	北金ヶ沢漁港	67	10,000	10,000	右・腹鰭	陸上水槽(太平洋)

文 献

- 1) 鈴木亮・菊谷尚久・尾鷲政幸(2011) 栽培漁業技術開発事業(キツネメバル), 青森県産業技術センター水産総合研究所事業報告, 平成 22 年度, 470-473.
- 2) 高橋進吾・菊谷尚久・尾鷲政幸(2012) 栽培漁業技術開発事業(キツネメバル), 青森県産業技術センター水産総合研究所事業報告, 平成 23 年度, 586-588.
- 3) 高橋進吾・菊谷尚久・尾鷲政幸(2013) 栽培漁業技術開発事業(キツネメバル), 青森県産業技術センター水産総合研究所事業報告, 平成 24 年度, 448-450.
- 4) 高橋進吾・鈴木亮・菊谷尚久(2014) 栽培漁業技術開発事業(キツネメバル), 青森県産業技術センター水産総合研究所事業報告, 平成 25 年度, 411-413.
- 5) 高橋進吾・鈴木亮(2015) 栽培漁業技術開発事業(キツネメバル), 青森県産業技術センター水産総合研究所事業報告, 平成 26 年度, 439-441.
- 6) 高橋進吾・鈴木亮(2016) 栽培漁業技術開発事業(キツネメバル), 青森県産業技術センター水産総合研究所事業報告, 平成 27 年度, 485-487.